

女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク



【相談窓口】＝配偶者暴力相談支援センター（本庁子育て支援課内）
☎（20）6343（直通）
【受付時間】＝8時30分～17時
＊土・日曜日、祝日は除く

DV、性犯罪、人身取引、セクシュアルハラスメントなど、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものです。暴力は、いかなる理由があろうとも決して許されるものではありません。

男女共同参画情報コーナー



～一人一人が幸せを実感できるまちへ～

【編集】＝「とらいいんぐる」編集員

【問合先】＝本庁企画政策部 コミュニティ課
男女共同参画グループ
☎（23）5111（内線 4612）

一人で悩まないでまずは相談を

11月12日（土）～25日（金）の2週間 「女性に対する暴力をなくす運動」週間

「DV」は自分には関係ないと思っていませんか。平成26年度の内閣府の調査では女性の4人に1人、男性の6人に1人が、配偶者から何らかの暴力を受けたことがあり、うち被害を受けた女性の9人に1人は、命の危険を感じたことがあると回答しています。

大切な家族や友だちを被害者や加害者にならないために、DVを身近な問題として捉えることが大切です。

*DVとは、配偶者や恋人など親密な関係にある人、または過去に関係があった人からの暴力による支配のことをいいます。

「パープルリボン運動」とは？

「パープルリボン運動」は、女性に対する暴力根絶運動として、1994



年にアメリカで始まりました。現在、40カ国以上の国々に広がり、国際的なネットワークに発展しています。パープルリボンには「あなたは一人ではないよ」というメッセージが込められています。

ここでは、本市内で展開しているグループを紹介します。

国際ソロプチミスト

鹿児島ー川内

会長 芹ヶ野郁子氏



▲設置セレモニーの様子



◀通勤・通学途中の方々が、思い思いにリボンを結ぶ

配偶者間やパートナー間のさまざまな暴力が問題になっています。私たちは、10年前から市・鹿児島純心女子大学・薩摩川内警察署などの協力をいただき、JR川内駅構内にDV撲滅を願うツリーを設置し、相談先が書かれたカードを配布しています。今年も11月25日（金）～12月25日（日）の間、駅改札口前に設置を計画しています。一緒にパープルリボンを結びながら、DVについて考え、撲滅を進めていきましょう。

薩摩川内市

ダイバーシティ研究会

会長 内野久子氏

私たちの研究会は、市女性チャレンジ委員会第5期生が、2年間の任期満了を機に「活動の中で得た学びを地域に還元したい」と集まりました。

主な活動の中に、パープルリボン運動があります。家庭や地域の中の暴力を無くし、被害者の安全を守りたいという意思表示として、このリボンをブローチにし、公的機関の窓口職員へ着用をお願いしました。また、DVや虐待防止の啓発用しおりも作成し、生涯学習フェスティバルなどのイベント時に3000枚を市民の皆さんに配布しました。

男女共同参画の学びを柱に、今後も継続した取り組みを進めていきます。



各種イベントにおいて啓発活動を実施

